

# 中小企業の省エネ・脱炭素に関する実態と CO2チェックシートについて

2025年3月7日

日本商工会議所



## ◆自己紹介

## ◆日本商工会議所では

- ・実態調査
- ・意見書・要望書
- ・日商エネルギー・環境ナビ ➡ 「CO2チェックシート」
- ・環境アクションプラン（AP100）
- ・地球温暖化対策行動宣言
- ・「見えサポ」

※日商エネルギー・環境ナビについては以下参照  
<https://eco.jcci.or.jp/>



※地球温暖化対策行動宣言については以下参照  
<https://eco.jcci.or.jp/aboutdeclaration>



## 本日のアジェンダ

- カーボンニュートラルに向けた国内・地域の動向
  
- 中小企業における取組の現状  
(日商・東商「中小企業の省エネ・脱炭素実態調査」より)
  
- 中小企業における取組の課題  
(日商・東商「中小企業の脱炭素・カーボンニュートラルに向けた取組推進に関する要望」より)
  
- CO2チェックシート・「見えサポ」について

# カーボンニュートラルに向けた国内・地域の動向

- 2050年カーボンニュートラル表明以降、国内では目標達成に向けた施策が打ち出される
- 目標達成に向けた取組みが進められている

## <国内における主な動き>

※役職は当時

- 2020年10月：菅総理「**2050年カーボンニュートラル**」表明
- 2021年5月：菅総理「**2030年度温室効果ガス排出46%削減(13年度比)**」表明
- 2021年10月：第6次エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画を閣議決定
- 2022年7月：GX実行会議の設置
- 2023年5月：GX推進法、GX脱炭素電源法の成立
- 2025年2月：**GX2040ビジョン、第7次エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画を閣議決定(2035年度60%削減、2040年度73%削減(13年度比))**

## <地域における主な動き>

### ■ 脱炭素先行地域の選定

※久留米市は21年2月に、大牟田市は23年4月にゼロカーボンシティを宣言

全国**38**道府県**107**市町村の計**81**件の計画提案を**脱炭素先行地域として選定**(2024年12月時点)

### ■ ゼロカーボンシティ

2024年12月27日時点で**1127自治体**(**46**都道府県、**624**市、22特別区、377町、58村)

【参考】環境省HP

<https://www.env.go.jp/policy/zerocarbon.html>

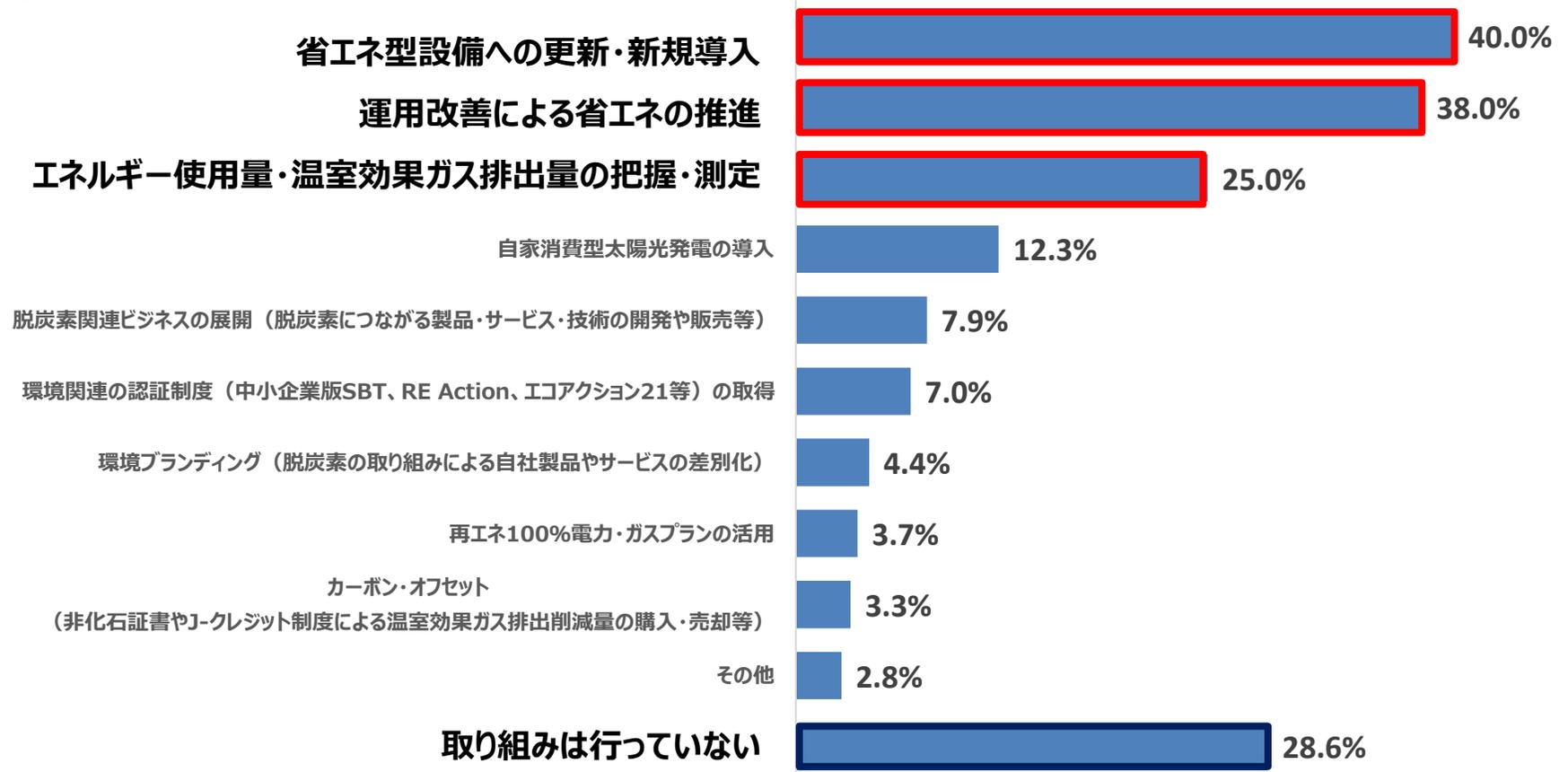


出典：  
環境省HP

## ①-1. 中小企業における省エネ・脱炭素の取り組み状況

- 「脱炭素に関する取り組みを行っていない」との回答は約3割（28.6%）。  
**中小企業の約7割（71.4%）が脱炭素に関する何らかの取り組みを実施。**
- 取組みの上位は「**省エネ**」とエネルギー使用量・温室効果ガス排出量の「**見える化**」

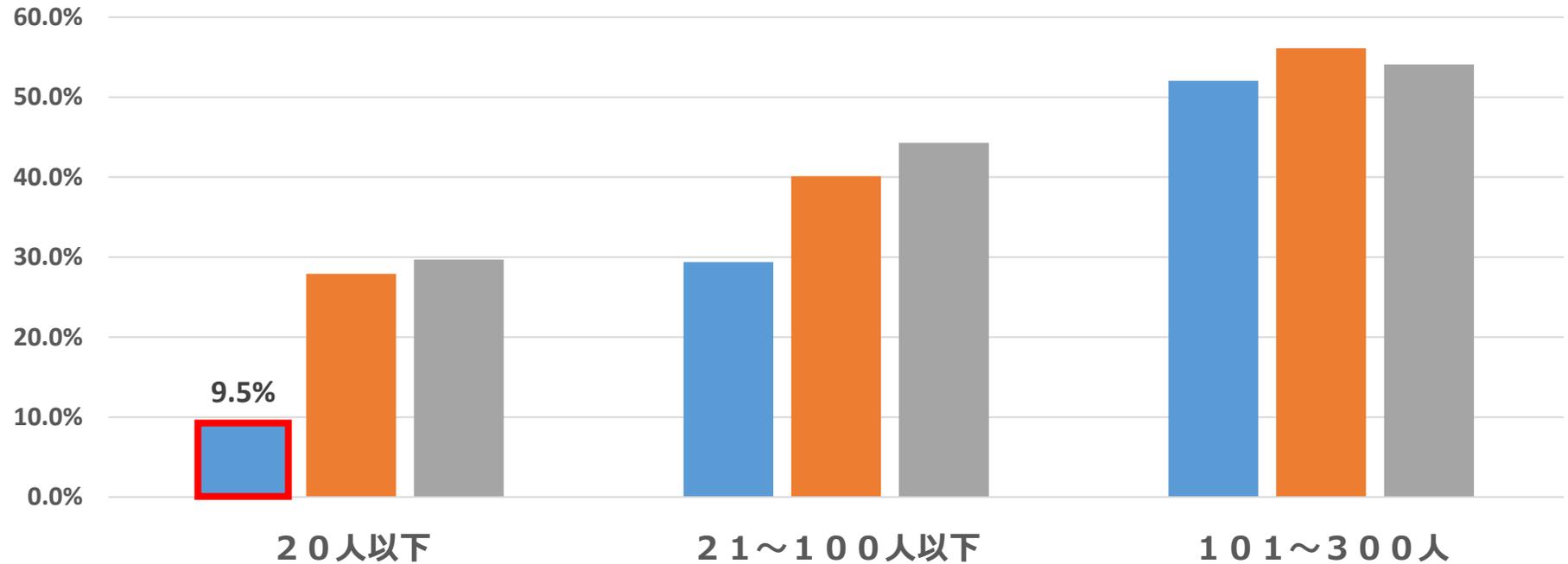
【複数回答】 n=2,139



## ①-2. 中小企業における省エネ・脱炭素の取り組み状況（規模別）

- 脱炭素に関する取り組みの上位3項目について従業員規模別でみると、従業員規模が大きいほど「取り組んでいる」との回答が多い。
- とりわけ、「温室効果ガス排出量等の把握・測定」は、従業員規模による差が大きく、20人以下の企業では1割を切る。

【規模別集計】 n=2,139

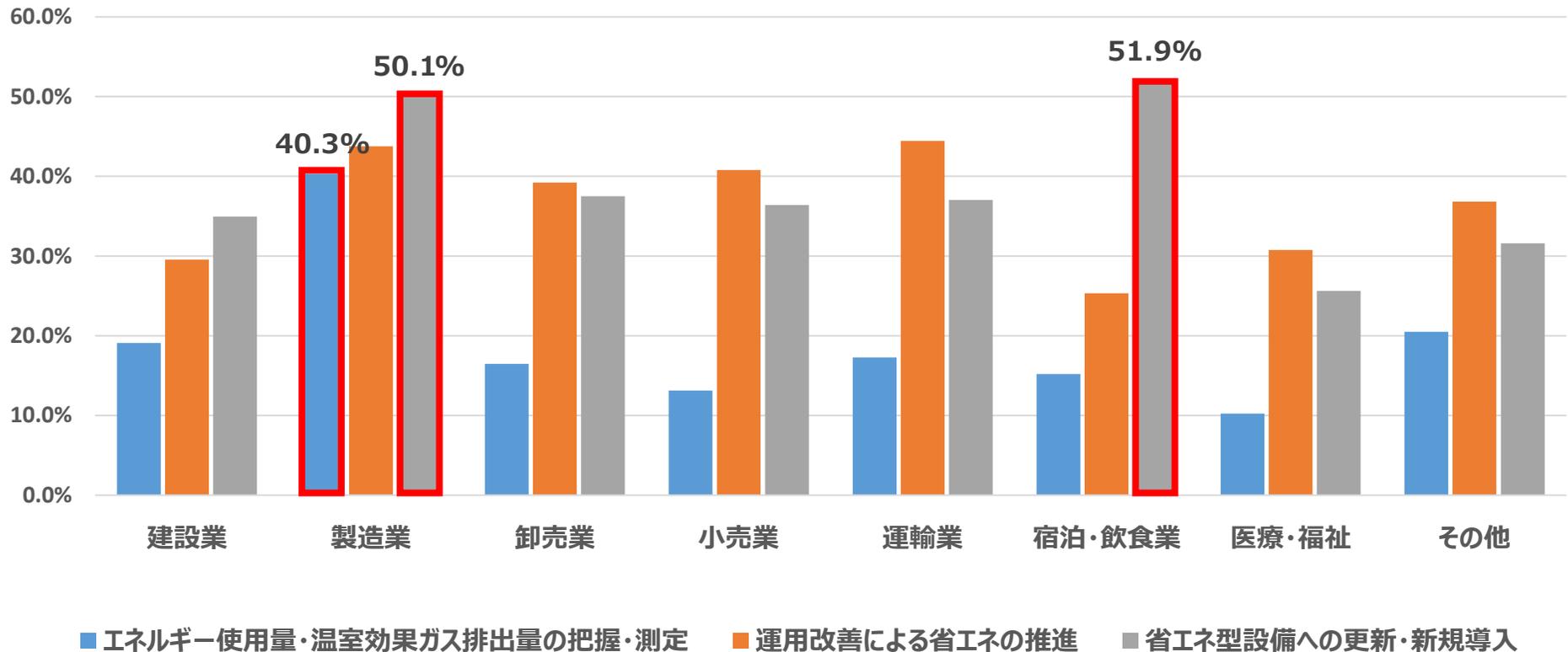


■ エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の把握・測定 ■ 運用改善による省エネの推進 ■ 省エネ型設備への更新・新規導入

## ①-3. 中小企業における省エネ・脱炭素の取り組み状況（業種別）

- 業種別では、「省エネ型設備への更新・新規導入」に取り組んでいると回答した企業は、宿泊・飲食業（51.9%）、製造業（50.1%）で約半数に達し、他の業種に比べ多い。
- 「エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の把握・測定」に取り組んでいると回答した企業は、製造業で4割（40.3%）と他の業種の2倍以上となっている。

【業種別集計】 n=2,066 ※「石油卸売業・燃料小売業、電気・ガス・熱供給」は除く、その他は「情報通信業」、「金融・保険・不動産業」「その他サービス業」「その他」

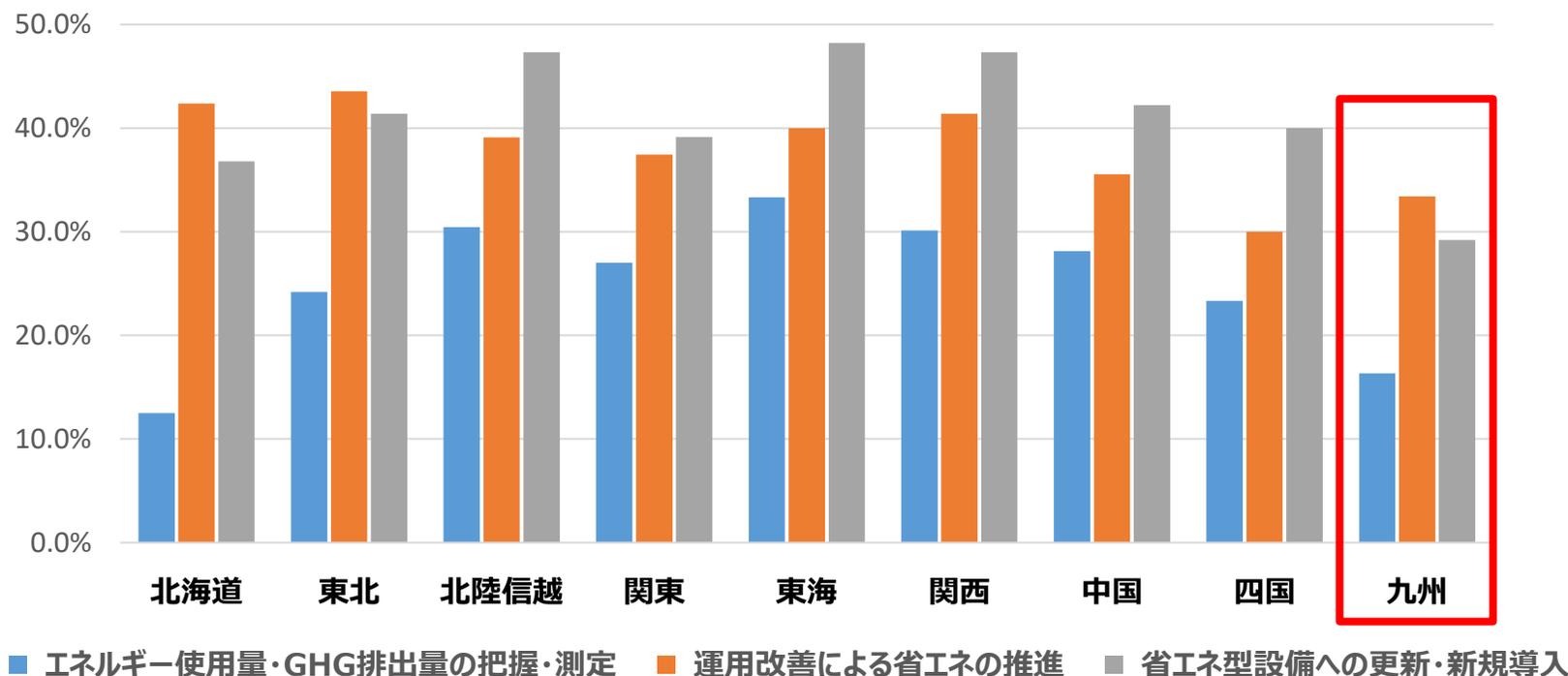


# ①-4. 中小企業における省エネ・脱炭素の取り組み状況（地域別）

■ 地域別で見ると、九州エリアは他エリアに比べて「エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の把握・測定」「省エネ型設備への更新・新規導入」に取り組んでいると回答した企業の割合が低くなっている。

【複数回答】 n=2,139

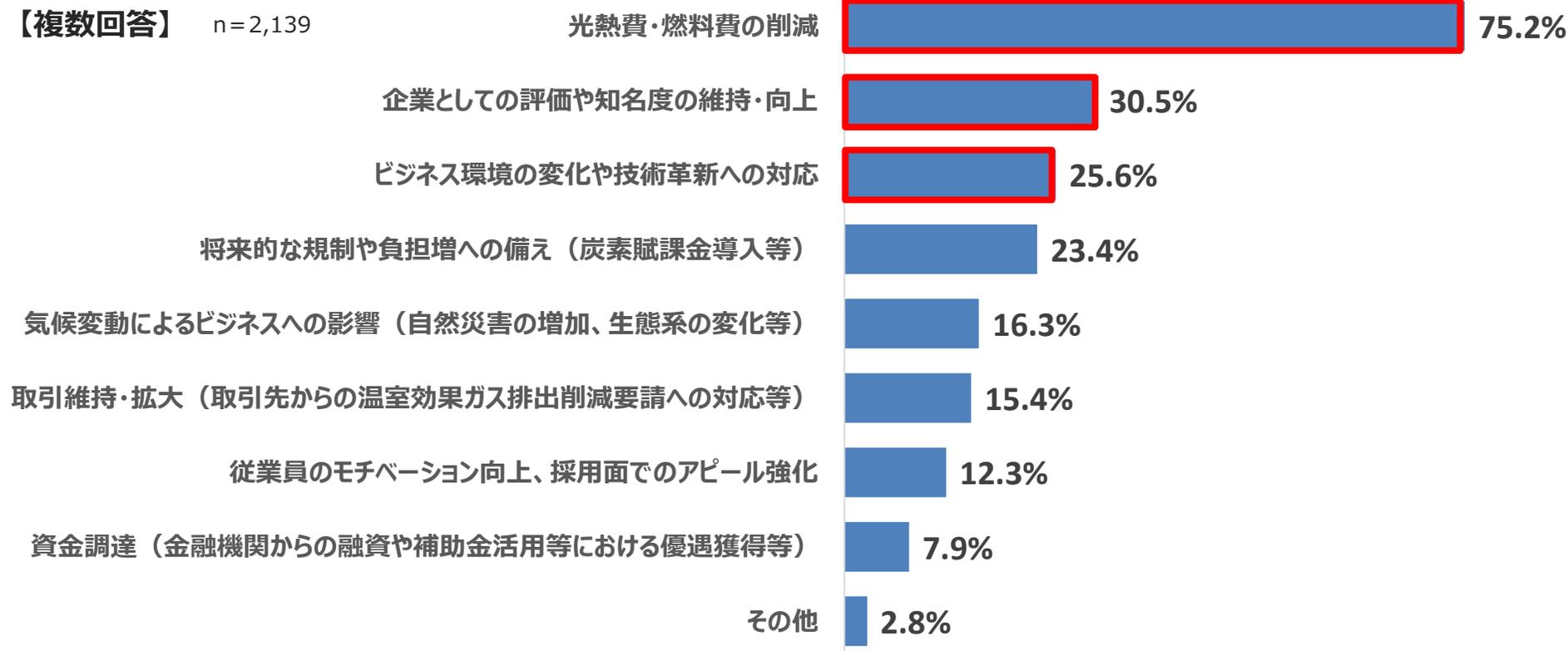
実施している脱炭素に関する取り組み



## ②-1. 省エネ・脱炭素の取り組み理由・目的

- 脱炭素に取り組む理由・目的は、「**光熱費・燃料費の削減**」が**75.2%**と最多。
- 「**企業としての評価や知名度の維持・向上**」（30.5%）、「**ビジネス環境の変化や技術革新への対応**」（25.6%）など、**企業ブランディングや経営革新**につなげようとする動きも。

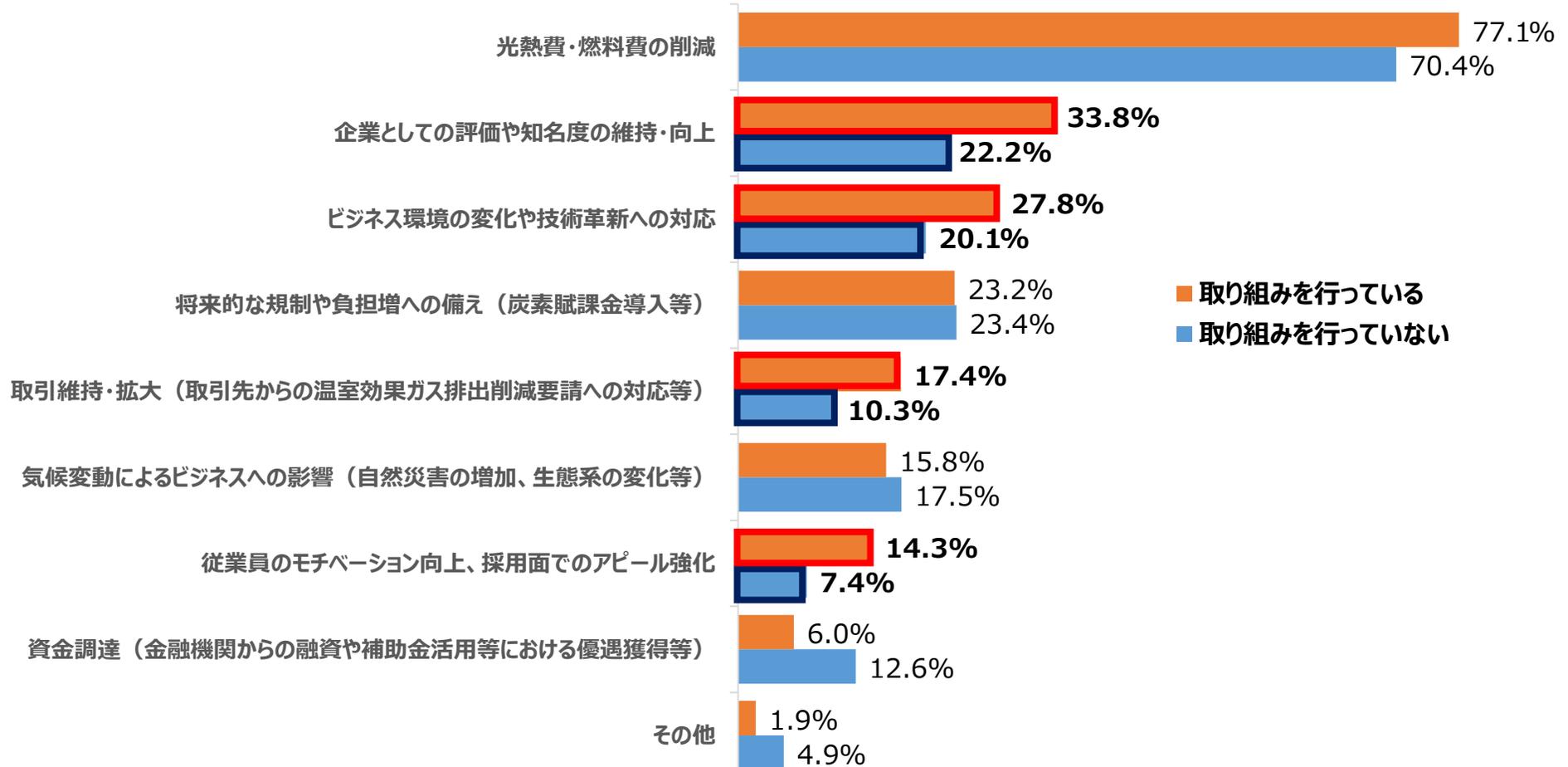
【複数回答】 n=2,139



## ②-2. 省エネ・脱炭素の取り組み理由・目的（内訳①）

■ 脱炭素の取り組みを行っている企業では、行っていない企業に比べ、「評価や知名度の維持・向上」、「ビジネス環境の変化や技術革新への対応」、「取引維持・拡大」、「従業員のモチベーション向上等」を理由に挙げる割合が顕著に高い。

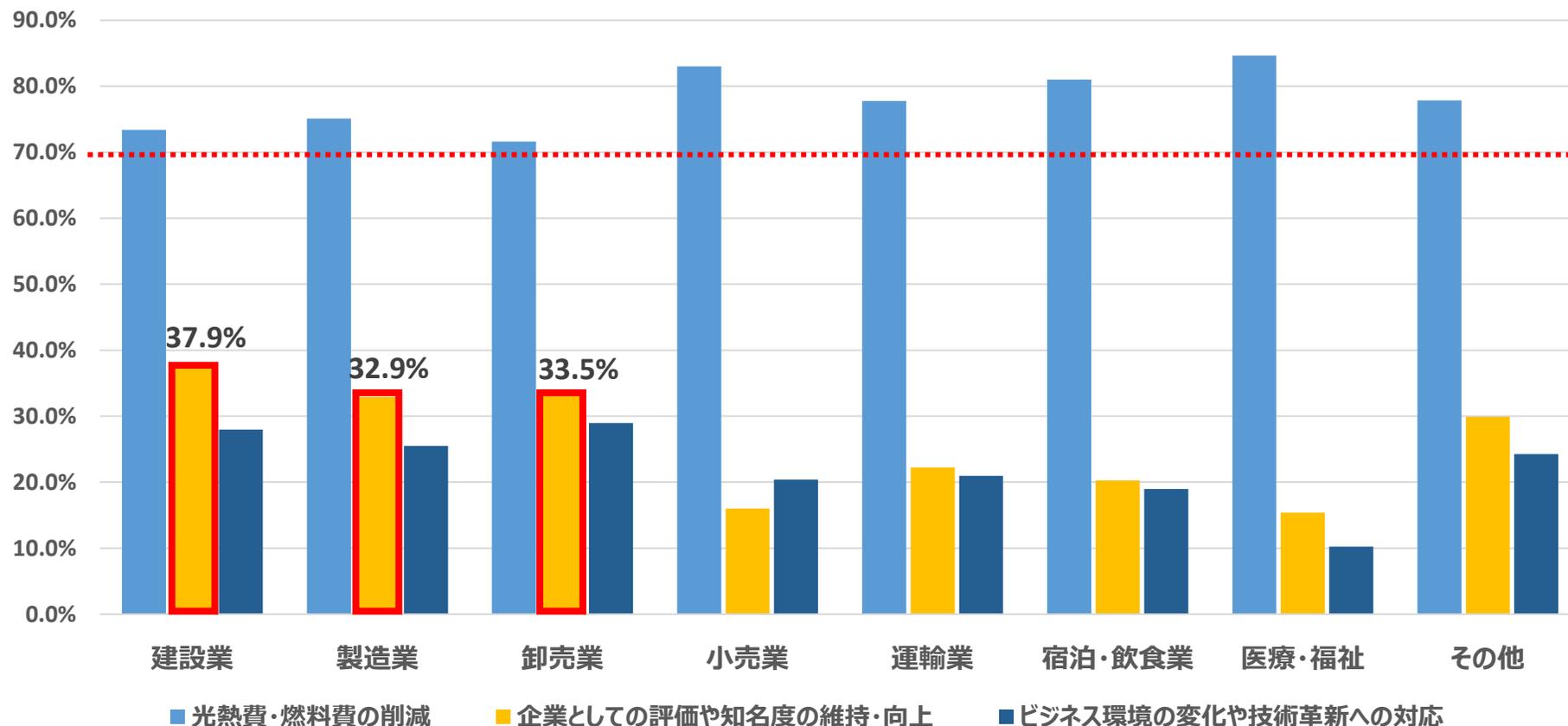
【複数回答】 (橙)取り組みを行っている n=1,527  
(青)取り組みを行っていない n= 612



## ②-3. 省エネ・脱炭素の取り組み理由・目的（内訳②）

- 取組理由の回答上位3項目のうち、「光熱費・燃料費の削減」は全ての業種で7割を超える。
- 「企業としての評価や知名度の維持・向上」は、「建設業」「製造業」「卸売業」で3割を超え、他の業種よりも高い。

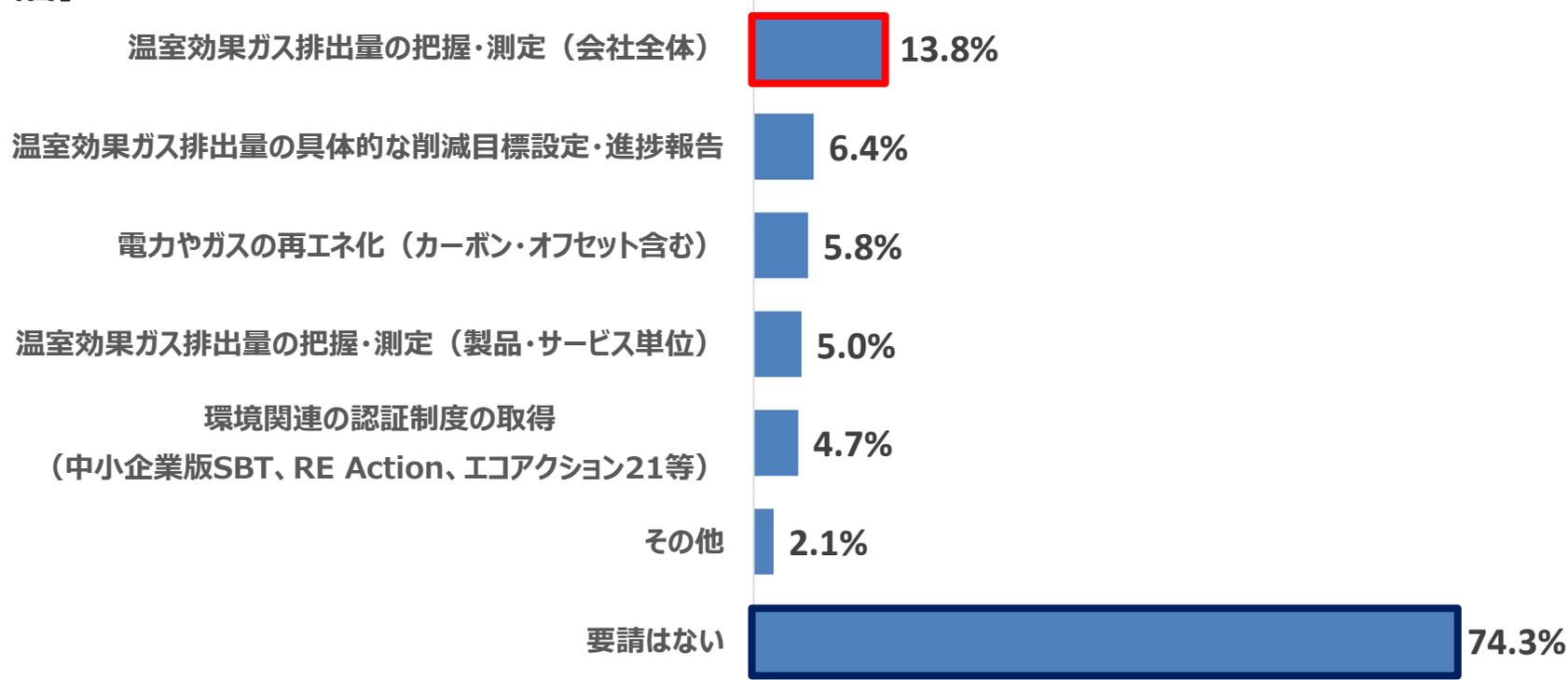
【業種別集計】 n = 2,066 ※「石油卸売業・燃料小売業、電気・ガス・熱供給」は除く、その他は「情報通信業」、「金融・保険・不動産業」「その他サービス業」「その他」



### ③-1.脱炭素に関する取引先等からの要請

- 脱炭素に関する取引先等からの要請については、「要請はない」との回答が74.3%。  
**4分の1（25.7%）の企業が取引先から何らかの要請**を受けている。

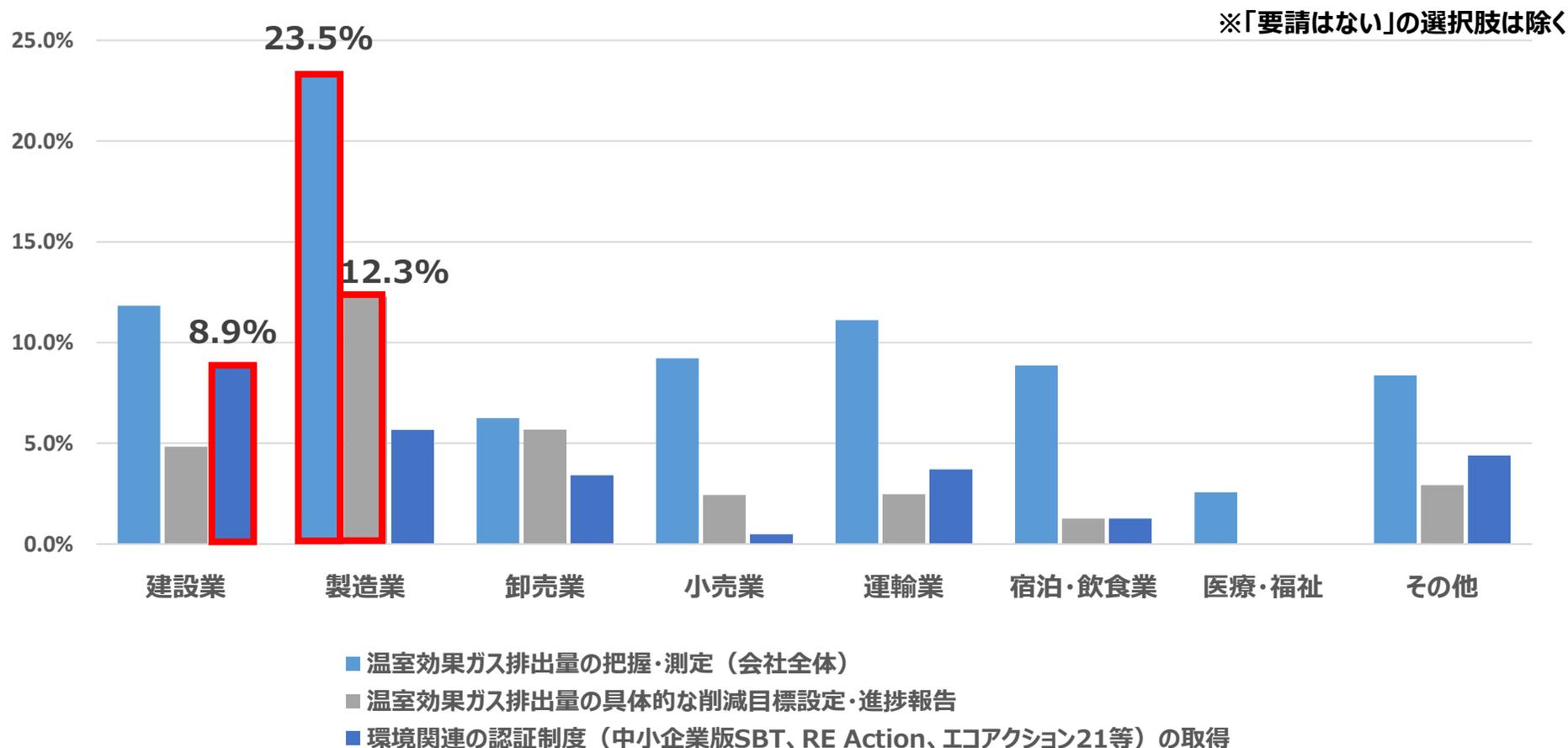
【複数回答】 n=2,139



### ③-2.脱炭素に関する取引先等からの要請（業種別）

- 要請内容の回答上位3項目のうち、「温室効果ガス排出量の把握・測定」、「具体的な削減目標設定・進捗報告」については、製造業が最も多く（23.5%、12.3%）、他の業種の倍以上となっている。
- 「環境関連の認証制度の取得」については、建設業（8.9%）が他の業種と比べ高くなっている。

【業種別集計】 n=2,066 ※「石油卸売業・燃料小売業、電気・ガス・熱供給」は除く、その他は「情報通信業」、「金融・保険・不動産業」「その他サービス業」「その他」

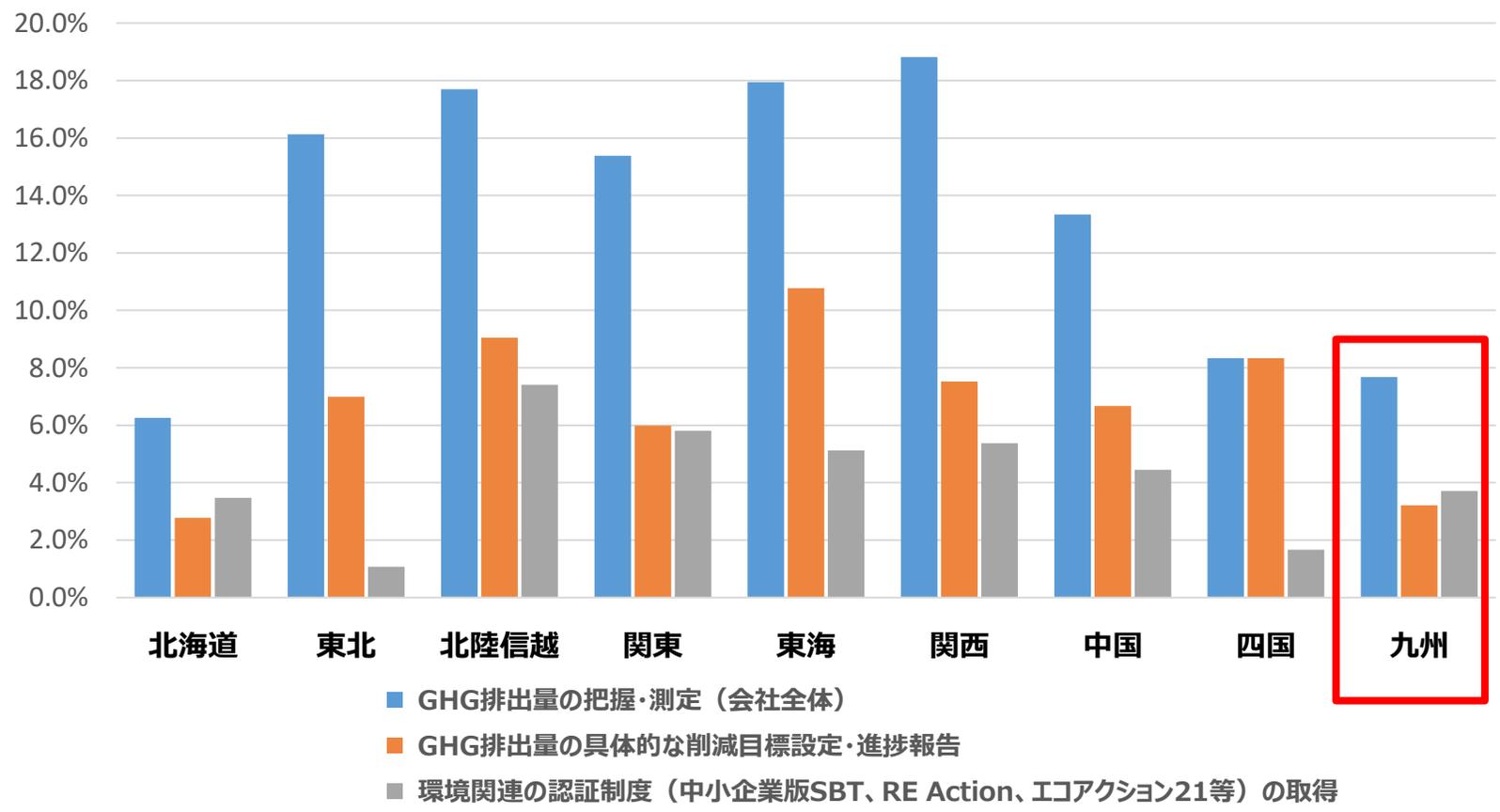


### ③-3.脱炭素に関する取引先等からの要請（地域別）

- 地域別でみると、九州エリアは、取引先等からの要請において「温室効果ガス排出量の把握・測定」、「具体的な削減目標設定・進捗報告」について、他のエリアと比べて低くなっている。

【複数回答】 n=2,139

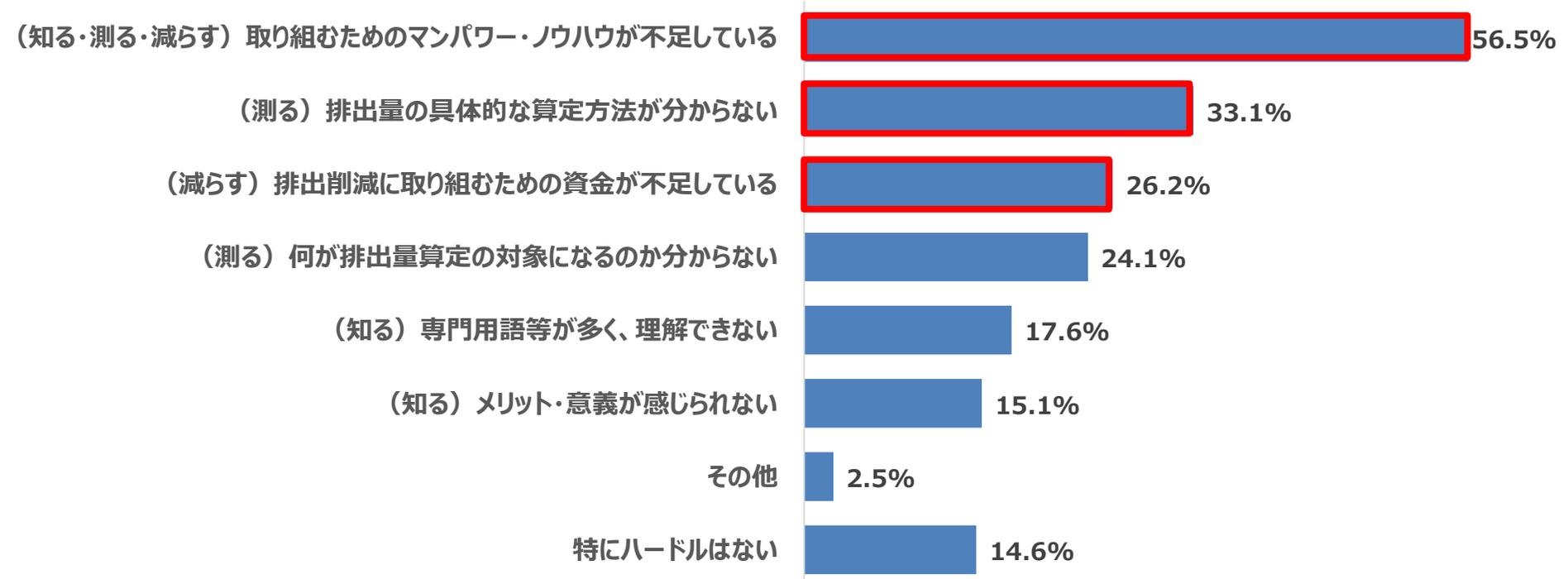
脱炭素に関し、取引先等から要請を受けている内容



## ④-1. 脱炭素に取り組むハードル

- 取り組むハードルについて、**半数以上（56.5%）が「マンパワー・ノウハウが不足」と回答。**
- 次いで、「排出量の具体的な算定方法が分からない」（33.1%）、「取り組むための資金が不足している」（26.2%）など、**算定方法や資金面にハードル**を感じているとする回答が多い。

【複数回答】 n=2,139

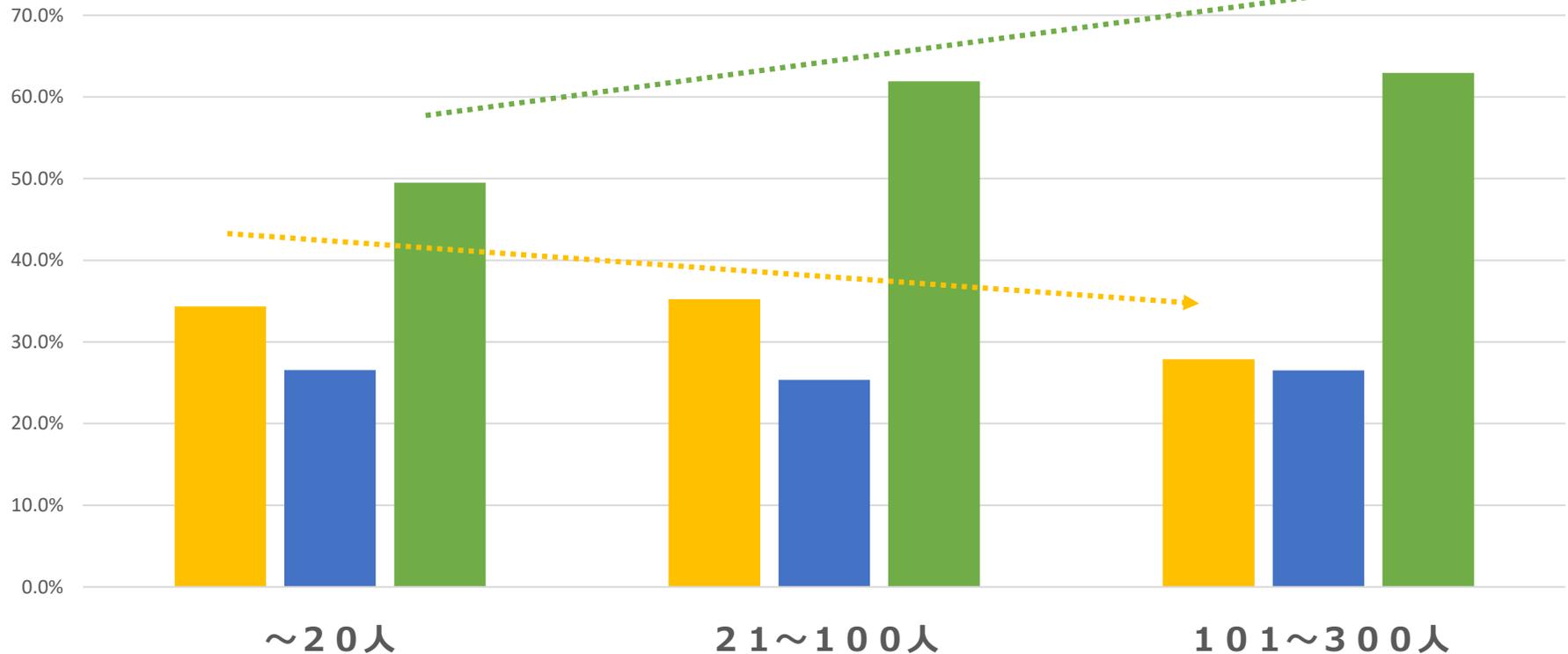


(知る) : 脱炭素について理解するステップ  
 (測る) : 自社の温室効果ガス排出量を算定・把握するステップ  
 (減らす) : 具体的に温室効果ガスの排出削減に取り組むステップ

## ④-2.脱炭素に取り組むハードル（規模別）

- 取り組むハードルの上位3項目についてみると、従業員規模が大きくなるほど「排出量の具体的な算定方法が分からない」との回答割合は低くなる一方、「取り組むためのマンパワー・ノウハウが不足している」との回答割合が高くなる。
- 「排出削減に取り組むための資金が不足している」との回答は、規模による差は見られない。

【規模別集計】 n=2,139



■ (測る) 排出量の具体的な算定方法が分からない

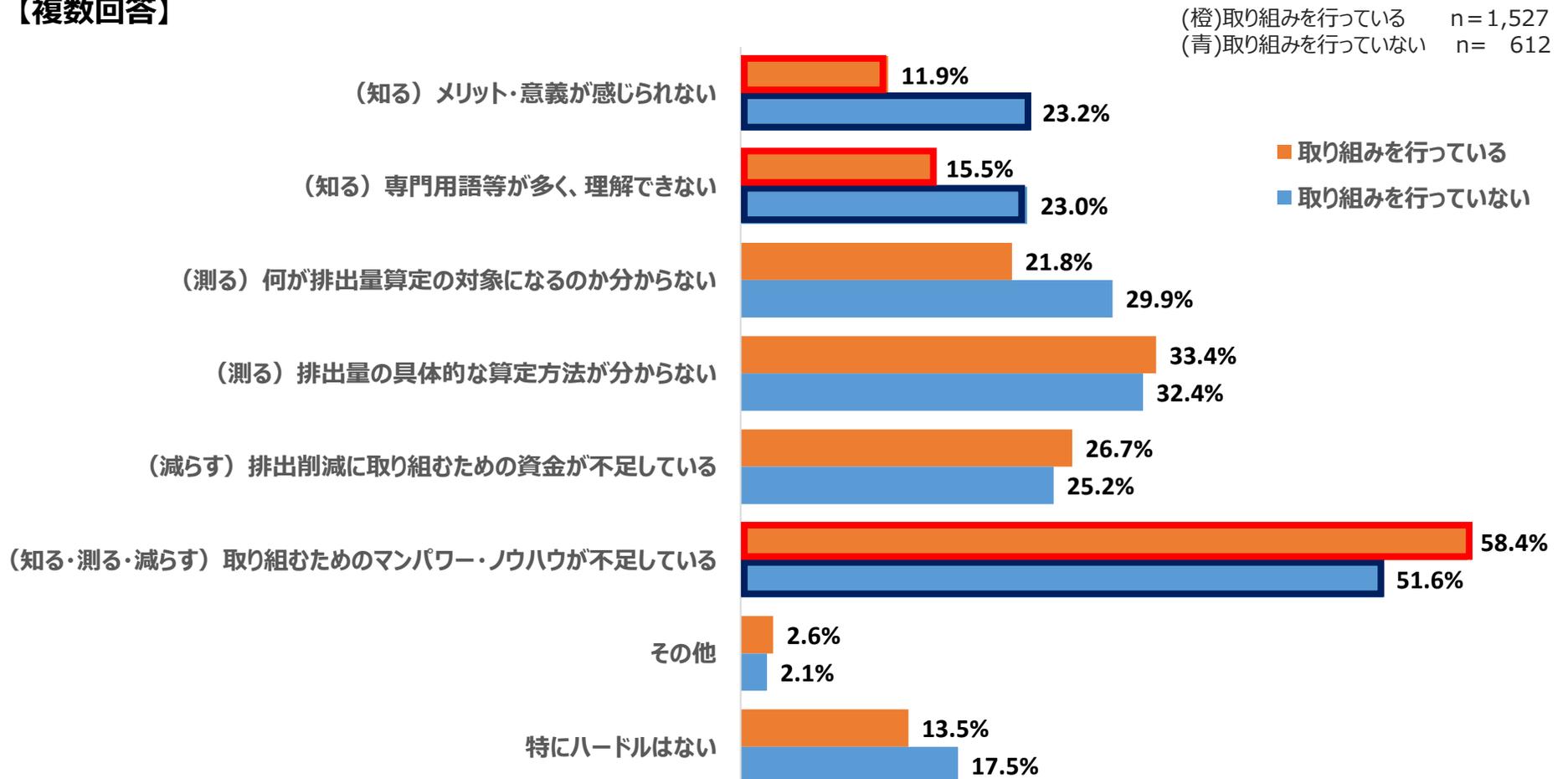
■ (減らす) 排出削減に取り組むための資金が不足している

■ (知る・測る・減らす) 取り組むためのマンパワー・ノウハウが不足している

### ④-3.脱炭素に取り組むハードル（取り組みを行っている・いない企業別）

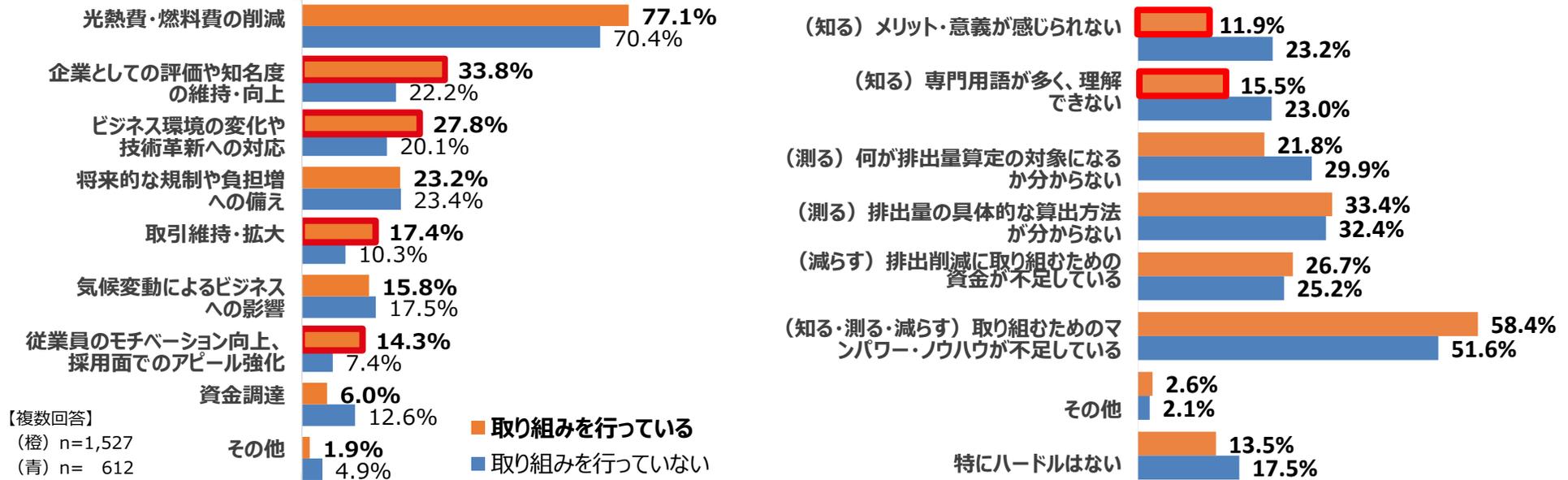
- 取り組みを行っていない企業では、「メリット・意義が感じられない」、「専門用語等が多く、理解できない」、「何が排出量算定の対象になるのか分からない」など脱炭素の必要性や内容を「知る」ステップにハードルを感じている。
- 「マンパワー・ノウハウが不足している」との回答は、取り組みを行っている企業の方が割合が高い。

#### 【複数回答】



## 【知る】 中小企業の脱炭素行動を促す情報提供・発信の一層の強化

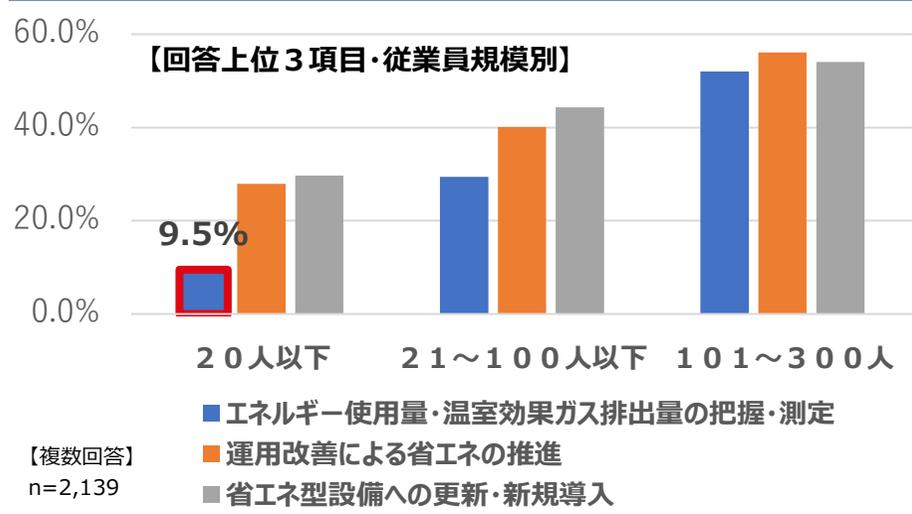
〔再掲〕 脱炭素に取り組む理由・目的（P8） / 脱炭素に取り組むハードル（P14）



- 取組拡大には、脱炭素に取り組む幅広いメリットや意義など、経営者の意識変革と脱炭素行動を促す情報提供・発信の一層の強化が不可欠。
- 経産省、環境省など複数の省庁や自治体による支援策を分かりやすく伝えるとともに、企業による取組の好事例について、表彰・認定・自己宣言等の仕組みを通じ、幅広くかつ継続的に発信することで、事業者のみならず国民、消費者の意識変革を促していくことも重要。

【測る】 自社の排出量を「見える化」し、削減につなげる社内の仕組みづくり

【再掲】 実施している脱炭素の取組（P5）



- マンパワー・ノウハウが十分でない中小企業による取組を後押しするべく、**簡便かつ低コストで排出量を算定・把握できる仕組み**の提供が不可欠。
- 中小企業でも活用可能な**排出量算定ツールの導入**を後押しするとともに、**具体的な算定の進め方や、算定結果に基づく排出削減の取組検討、期待される排出削減効果の「見える化」**などについて**専門家等による伴走型支援や社内の人材育成が必要**

<日商の取組>

- ◆ 「CO2チェックシート」  
無料でダウンロードできるエクセルツール
- ◆ 「見えサポ」  
民間のクラウドツールを会員特典付きで導入できる仕組み



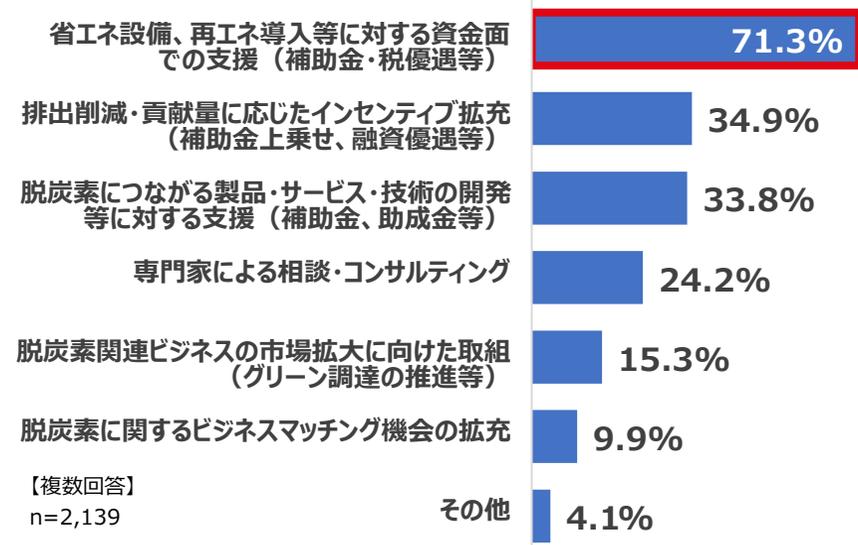
※詳細は後ほどご説明します

### ③「減らす」に関する課題

## 【減らす】省エネ・脱炭素を目的とする設備投資への資金支援のさらなる拡充

- 中小企業においては、エネルギーコストのみならず、原材料費や人件費の負担増が大きな課題。**エネルギー効率が高く、温室効果ガス排出の少ない設備への更新や新規導入の取組を推進するには、資金面での支援の拡充が不可欠。**
- 日商・東商調査でも、**国・自治体へ求める支援**については、「**省エネ設備・再エネ導入に対する資金面での支援**」を挙げる企業が**7割を超え、最も多い。**

### 【調査結果】 政府や自治体に期待する支援



- 省エネ・再エネ設備導入による温室効果ガス排出削減効果をクレジット化し、売却できる「**J-クレジット**」制度は、資金面での負担を軽減する効果が期待できるが、**中小企業の利用は十分進んでいない。**

- 中小企業において省エネ・再エネ設備導入が進めば、当該分野の**技術革新・競争力の向上**が図られ、**海外市場も見据えた有望な産業創出・振興**にもつながる。

## 【参考事例】 中小企業によるJ-クレジット創出の取組 (J-クレジットウェブサイトより)

### 株式会社酔心山根本店 (広島県・三原市)

#### 食品工場 (酒) におけるボイラーの更新 (重油→都市ガス)

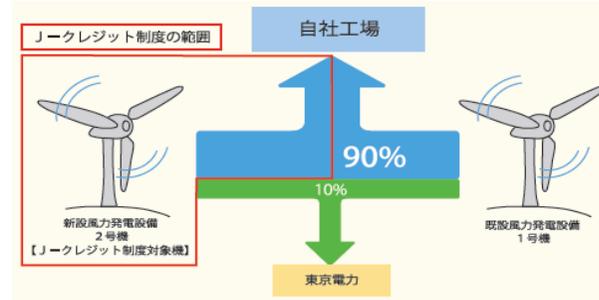
- 日本酒の製造工程における蒸気用ボイラーを、高効率の都市ガスボイラーに更新することにより、CO2排出量を大幅に削減しクレジットを創出
- 創出したクレジットは、主に広島県内の事業者によるカーボン・オフセットに活用されており、地域の低炭素化にも貢献



### 株式会社駒井ハルテック (東京都・台東区)

#### 工場における風力発電設備導入

- 富津工場敷地内に300kW出力の中型風力発電機を設置し削減しクレジットを創出



### 菊正宗酒造株式会社 (兵庫県・神戸市)

#### 食品工場 (酒) におけるボイラーの更新 (灯油→都市ガス)

- 工場のボイラーを灯油から高効率の都市ガスボイラーに変更したことで、CO2排出量を削減。生み出したJ-クレジットを売却し投資費用の一部を抑える。
- 都市ガスボイラーに変更したことで、バルブの開閉等でボイラー室に足を運ばずPCを介して自動制御でき省力化にもつながる。



### 株式会社村里運輸 (長崎県・大村市)

#### 輸送車両におけるバイオ液体燃料 (BDF) の利用

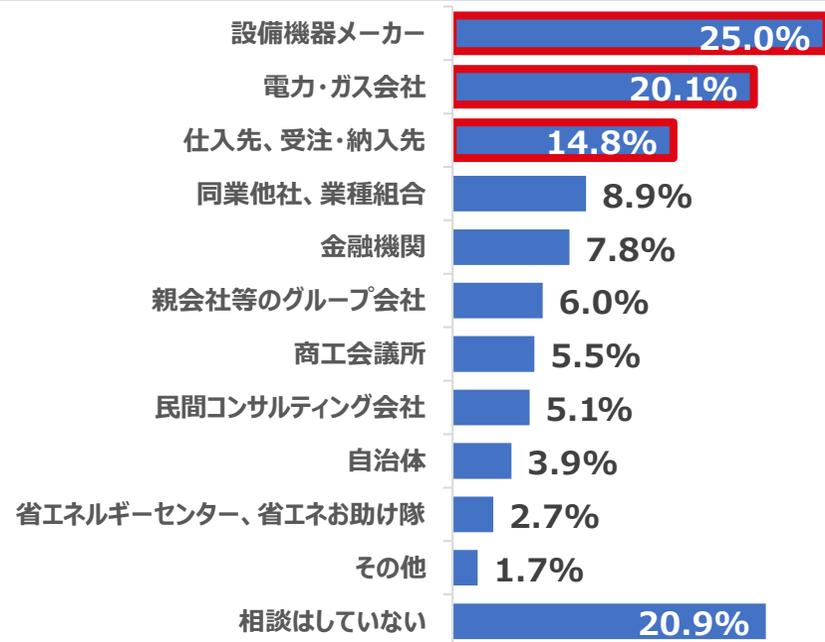
- 家庭・企業から廃食用油を回収しBDFを製造し、自社の営業用運送車両等の燃料として活用



## 【つなぐ】取引先大手企業等との連携・協力による脱炭素取組の推進

- 日商・東商調査では、**中小企業が脱炭素に取り組む際の主な相談先として設備機器メーカー（25.0%）、電力・ガス会社（20.1%）、取引先（14.8%）**を挙げる声が多い。
- 「マンパワー・ノウハウの不足」を補い、中小企業の脱炭素の取組を進めるには、**取引先をはじめ、日頃のビジネスを通じて中小企業と関わりを持つ様々な企業・支援機関による働きかけと技術・人材・資金面での連携・協力の推進**がカギとなる。

### 【調査結果】脱炭素に取り組む際の相談先



- とりわけ、大手企業においては、**排出量取引による直接的な影響も懸念**されるが、**パートナーシップ構築宣言**の考え方に則り、**脱炭素の推進においても、サプライチェーンでつながる中小企業との共存共栄**を図る取組が期待される。その際、「**スコープ3**」を含む**排出量把握の手法確立**が重要となる。

## ①-1.「CO2チェックシート」について（概要とポイント）

- 2011年10月からサービス提供開始
- 商工会議所の会員・非会員を問わず、どんな企業様にも利用可能な**無料**ツール

<こんな方にオススメ>

省エネは  
何から始めたらいい？

省エネ設備導入に  
メリットはある？

エネルギー価格高騰で、  
どれだけ電気料金は  
上がっている？

- 自社のエネルギー使用量やCO2排出量を簡単に“見える化”
- 環境省「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」の排出係数を利用
- 毎月の使用量・料金をExcel入力するだけで、CO2排出量が自動計算
- 計測開始月は自社の決算月に合わせ自由に設定可能
- 電力会社別、電気を多く使う時間帯別など、利用形態に応じた設定が可能

①-2.「CO2チェックシート」の使い方（ダウンロード方法）

- 「日商エネルギー・環境ナビ」（<https://eco.jcci.or.jp/>）を検索
  - ➡当該サイトは、低炭素経営とコスト削減の両立を目指し、中小企業の皆さまが、自主的に行う地球温暖化対策への取組みを支援するサイト



チェックシートダウンロードフォーム

お手数ですが、簡単な情報を記入していただくと、完了画面へ遷移し、ダウンロードリンクが表示されます。入力後、画面が切り替わるまで、若干お待ちいただく場合がございますので、ご容赦下さい。

[個人情報保護方針についてはこちら](#)

所属商工会議所名	※ 未入力でも可
事業者・会社・団体名(必須)	
メールアドレス(必須)	

送信



co2\_check\_sheet ●●●●.xlsx

keisu.xlsx

※ ●●●●部分は配布年度の数字が入ります

2つのExcelファイルがダウンロードされます。

# ①-3.「CO2チェックシート」の使い方（ダウンロードファイル）

## 1. 「co2\_check\_sheet\_●●●●.xlsx」

➡実際に電力、灯油等、毎月の使用量と料金を入力するExcelファイル

## 2. 「keisu.xlsx」

➡上記ファイルでCO2排出量を自動計算するための排出係数が記載されたExcelファイル



co2\_check\_sheet\_●●●●.xlsx

●●●●部分は配布年度の数字が入ります

### <シートの種類>

- ・使用方法シート
- ・入力シート(年度ごと)
- ・シミュレーションシート
- ・年度比較シート



keisu.xlsx

### <シートの種類>

- ・排出係数シート(年度ごと)
- ※排出係数は、環境省の「算定方法・排出係数一覧」の数値を反映  
<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

CO2チェックシート												
2022年度		企業名	日商エネルギー株式会社									
グラフ化する項目		電力	調整後 排出係数		東京電力		主及時間帯 「昼間」午前8時～午後10時まで		開始月			
									9			
									5 6 7 8 9 10 11 12			
■ 電気事業者別排出係数一覧 <a href="http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc">http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc</a>												
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
電力	使用量	32,521.00	28,633.00	34,525.00	35,705.00	35,820.00	34,792.00	35,277.00	33,961.00	35,276.00		
	使用料金	¥928,933	¥860,432	¥1,042,091	¥1,092,573	¥1,043,117	¥1,029,327	¥1,101,502	¥1,091,118	¥1,132,826		
灯油	使用量	290.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	144.00	1,292.00	1,881.00		
	使用料金	¥26,390	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥15,120	¥107,236	¥137,736		
A重油	使用量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	使用料金	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
都市ガス	使用量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	使用料金	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
液化天然ガス (LNG)	使用量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	使用料金	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
液化石油ガス (LPG)	使用量	89.60	66.00	54.00	33.60	28.10	36.50	51.90	60.60			
	使用料金	¥61,538	¥49,871	¥44,476	¥39,129	¥34,443	¥32,982	¥38,808	¥43,740			
ガソリン	使用量	3,806.64	3,594.00	3,701.55	3,416.90	3,751.00	3,525.16	3,566.85	3,410.27			
	使用料金	¥451,119	¥437,382	¥464,820	¥439,436	¥488,524	¥466,211	¥472,294	¥444,730			
軽油	使用量	586.93	280.49	733.06	596.35	529.17	515.14	552.58	435.36			
	使用料金	¥59,281	¥28,330	¥75,206	¥26,542	¥58,235	¥55,122	¥59,127	¥46,585			

	単位	排出係数(B)	単位発熱量(C)	夜間	係数
電力 使用量	kwh		9.97	9.28	北海道 0.533
灯油 使用量	L	2.50	36.50		東北電力 0.483
A重油 使用量	L	2.75	38.90		東京電力 0.451
都市ガス 使用量	Nm <sup>3</sup>		40.00		中部電力 0.382
液化天然ガス (LNG) 使用量	kg	2.79	54.70		北陸電力 0.484
液化石油ガス (LPG) 使用量	kg	2.99	50.10		関西電力 0.309
揮発油 (ガソリン) 使用量	L	2.29	33.40		中国電力 0.536
軽油 使用量	L	2.62	38.00		四国電力 0.526
二酸化炭素(CO2) 排出量合計	-				九州電力 0.382
一次エネルギー 使用量合計	-				沖縄電力 0.684
使用料金合計	-				

# ①-4.「CO2チェックシート」の使い方（電気・ガス等の使用量・料金の入力）

- 貴社の使用量・使用料金を該当の月にご入力ください。
- 使用量を入力すると、「CO2排出量合計（kg-CO2）」、「一次エネルギー換算エネルギー使用量合計（MJ）」が自動計算されます。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	単位	CO2 排出量合計 (kg-CO2)	一次エネルギー 換算エネルギー 使用量合計(MJ)	使用 料金合計(円)
電力	使用量	184.00												184.00	kWh	64.40	1,707.52	-
	使用料金	¥6,169												¥6,169	円	-	-	¥6,169
灯油	使用量																	
	使用料金																	
A重油	使用量																	
	使用料金																	
都市ガス	使用量	45.00																
	使用料金	¥8,972																
液化天然ガス (LNG)	使用量																	
	使用料金																	
液化石油ガス (LPG)	使用量																	
	使用料金																	
ガソリン	使用量																	
	使用料金																	
軽油	使用量																	
	使用料金																	¥0

累計	単位	CO2 排出量合計 (kg-CO2)	一次エネルギー 換算エネルギー 使用量合計(MJ)	使用 料金合計(円)
184.00	kWh	64.40	1,707.52	-
¥6,169	円	-	-	¥6,169
0.00	L	0.00	0.00	-
¥0	円	-	-	¥0

①-5.「CO2チェックシート」の使い方（ご利用ガイド動画）

(2) CO2チェックシートの使い方（ご利用ガイド動画）

- CO2チェックシートの使い方を一からわかりやすく説明したご利用ガイド動画  
 > <https://youtu.be/Bcnen98IXJU>



CO2チェックシート

2022年度	企業名	日商エネルギー株式会社	電気事業種	東京電力	子会社別	「見せ」年間8時～午後10時まで	開始月	9
グラフ化する項目	電力	消費電	排出係数	単価別				9
								8
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8
								9
								10
								11
								12
								1
								2
								3
								4
								5
								6
								7
								8

## ①-6.「CO2チェックシート」の現状と課題

■ 累計ダウンロード数は7千件を超え、広く利用いただいています。

・無料なので、「人に勧めやすく」、「まず、やってみる」には最適。

➡一方で、以下の声も頂戴しています。

■ 排出係数が毎年更新される都度シートをダウンロードする必要があり  
手間がかかっている

■ 複数事業所をまとめて管理したいがその機能がない

■ スコープ3についても算出したい

■ エクセルのため属人的な管理となりやすい。クラウド型にできないか



24年4月より「商工会議所CO2見える化サポート（見えサポ）」を開始！

**見 え サ ポ**

## 【参考】サプライチェーン排出量とは

- 事業者自らの排出だけでなく、事業活動に関係するあらゆる排出を合計した排出量を指す。つまり、原材料調達・製造・物流・販売・廃棄など、一連の流れ全体から発生する温室効果ガス排出量のこと
- サプライチェーン排出量 = **Scope1排出量** + **Scope2排出量** + **Scope3排出量**
- GHGプロトコルのScope3基準では、Scope3を**15のカテゴリに分類**



○の数字はScope 3のカテゴリ

CO2チェックシート対応範囲

**Scope1** : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

**Scope2** : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

**Scope3** : Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

## ②-1.「見えサポ」の概要

- 日本商工会議所が民間3社（アスエネ、Zeroboard、e-dash）と包括提携
- 各地の商工会議所ごとに制度採用を決定
- **会員特典付き**のCO2排出量「見える化」ツール導入・利用が可能

商工会議所会員事業者向け

商工会議所 CO<sub>2</sub> 見える化サポート

# 見えサポ

取引先から脱炭素に取り組むように言われたけど何をすれば…

高くなったエネルギーコストを何とかしたい…

CO<sub>2</sub>排出量ってどうやって算定するのだろう…

商工会議所が脱炭素への取組み「測る」を支援します！

カーボンニュートラルについて **知る**

自社のCO<sub>2</sub>排出量を **測る**

省エネ・設備更新でCO<sub>2</sub>を **減らす**

商工会議所は、会員事業者の脱炭素に向けた取組みの3つのステップ「知る」「測る」「減らす」のうち、「測る」=企業の電力・ガスなどのエネルギー使用量から二酸化炭素・温室効果ガスの排出量を計測・把握すること、すなわち「見える化」をサポートします。

まずはお金はかけずに、自分で  
すぐに取り組みたい方

無料で好評  
まず始めるのに  
最適！

「CO<sub>2</sub>チェックシート」

日本商工会議所が提供する EXCEL のツールです  
(ダウンロード無料)。



少しお金はかかっても、サポート  
があるツールを導入したい方

## クラウド型見える化ツール

詳細は次ページに ➔

## ②-2.「見えサポ」（各社ツールの概要）

■ 各社のツール概要は以下のとおり

			
料金目安 (税抜)	月1万円～	月2万円～ (支払は年払のみ)	個別見積
会員特典	排出量の開示に関する コンサルが無料	初期費用 (2.4万円～) 無料	初年度 15%キャッシュバック※
画面 イメージ・ サービス 紹介ページ	  <a href="https://e-dash.io/">https://e-dash.io/</a>	  <a href="https://zeroboard.jp/">https://zeroboard.jp/</a>	  <a href="https://bit.ly/3P1i8cd">https://bit.ly/3P1i8cd</a>
お問い合わせ ・ご相談・ お申し込みは こちらから	<a href="https://share.hsforms.com/13xpHln46Tv-PfS9byxb4BQd2rn3">https://share.hsforms.com/13xpHln46Tv-PfS9byxb4BQd2rn3</a> 	<a href="https://forms.immedio.io/s/clt3vw22v008z30ympg9wakdi">https://forms.immedio.io/s/clt3vw22v008z30ympg9wakdi</a> 	上記URLの 「無料デモお申込み」から申込、 「お問い合わせの内容」欄に 所属商工会議所名を入力してください

※適用条件あり



**日本商工会議所**

The Japan Chamber of Commerce and Industry